

(16) 技工にかかった時間(分)

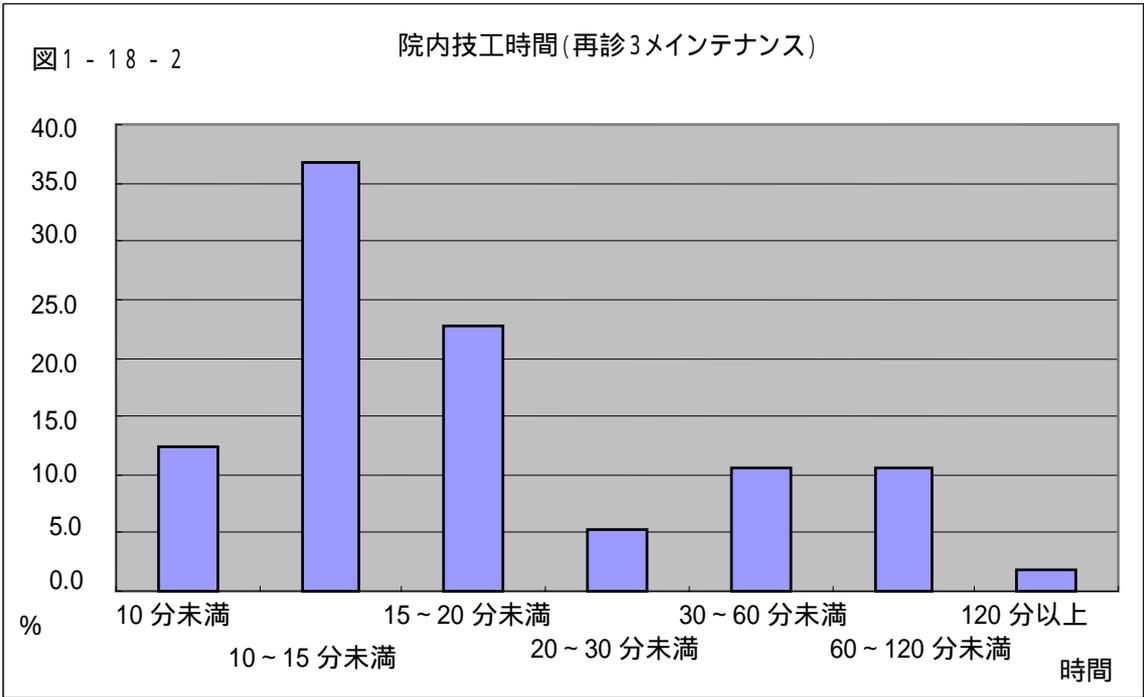
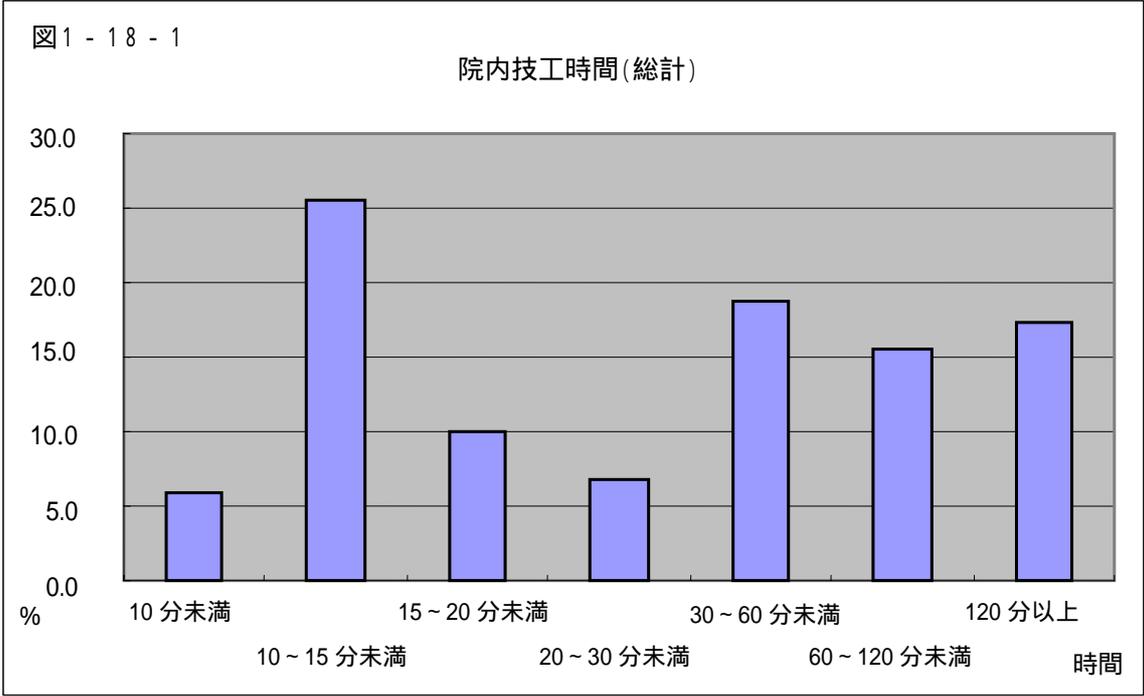
(表1-1~表1-5, 表2-17と図1-18-1~図1-18-2)

院内技工の時間は全体の平均では  $45.69 \pm 28.85$ 、中央値 40 であるが、表 2-17、図 1-18-1 に見られるように 10~15 分 25%、30~60 分未満 18.7%、60~120 分未満 15.5%、120 分以上 17.4% であった。これに対して、再診 3(メンテナンス)では、図 1-18-2 に見られるように 10~20 分が 60% を占めている。下顎位置変更のため上下装置の切り離しに要した時間である。

表 2 - 17 院内技工時間

	総計		初診		再診 1		再診 2		再診 3	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
10分未満	13	5.9	0	0.0	0	0.0	6	9.2	7	12.3
10~15分未満	56	25.6	7	10.6	8	25.8	20	30.8	21	36.8
15~20分未満	22	10.0	3	4.5	1	3.2	5	7.7	13	22.8
20~30分未満	15	6.8	1	1.5	7	22.6	4	6.2	3	5.3
30~60分未満	41	18.7	15	22.7	7	22.6	13	20.0	6	10.5
60~120分未満	34	15.5	18	27.3	5	16.1	5	7.7	6	10.5
120分以上	38	17.4	22	33.3	3	9.7	12	18.5	1	1.8
合計	219	100.0	66	100.0	31	100.0	65	100.0	57	100.0

平均	54.9	平均	87.9	平均	44.6	平均	54.1	平均	23.3
----	------	----	------	----	------	----	------	----	------



## 2. 装置の形態と総装置数

- (1) 装置の形態はF K Oのように口腔外で作製する型の装置を採用している医療機関は3施設あり、上下顎それぞれの装置装着後に下顎位を決定し、口腔内で固定する装置は30施設、7施設は両者併用であった。残りは不明・回答なしであった。
- (2) 16年4月から17年2月までの各医療機関において作製された装置数(症例数)は、 $71.0 \pm 59.3$  と施設間格差が極めて大きく、100装置を超える医

療機関が 7 施設有り、最高 236 装置、最低 7 装置であった。

### 3. 装置作製のための使用材料と材料料

口腔内装置作製に要した材料料を表 3 に示す。

表 3 口腔内装置作製に使用した材料と材料料および院外技工料金			
項 目	1g 当たり料金 円 (平均値)	1 回当たり使用量 (g r 枚数)	1 口腔当たり材料料 円
印象材 1 アルギン酸系	4.1	65.5	247.3 ± 165.3
印象材 2 アルギン酸以外	66.9	103	2222
咬合採得材 1 パラフィン	5	8.7	45.7 ± 15.5
咬合採得材 2 パラフィン以外	163.5		564.5 ± 620.8
装置材料 院内技工 (熱可塑性樹脂)	618.7		1166.2 ± 798.3
装置材料(院内技工) アクリリックレジン	1759.5		2255.3 ± 2143.6
装置接着剤等	161.2		839.8 ± 693.1
特殊材料 (ハーベスト装置など)			3790 ~ 9000
院外技工料			11042.0 ± 4471.3

#### (1) 印象採得に使用した材料と材料料

2 医療機関のみシリコン系印象材を使用し、他はアルギン酸系印象材を使用していた。アルギン酸系印象材の購入価格は各医療機関でのばらつきが見られ、1 口腔当たりの使用量は  $65.5 \pm 25.3$  g で 1 口腔当たりの使用材料料は  $247.3 \pm 165.3$  円であった。シリコン系印象材は 2222 円であった。

#### (2) 咬合採得の使用材料

33 医療機関では、パラフィンワックスを使用しており、使用量は  $8.7 \pm 4.4$  g で、1 口腔当たりの材料料は  $45.7 \pm 15.5$  円であった。購入価格は医療機関によりややばらつきが見られている。

パラフィンワックス以外の材料

使用材料は多岐にわたっており、価格も  $564.5 \pm 620.8$  円とばらつきが大きい。又、同じ材料でも医療機関により購入価格に違いが見られている。

### (3) 装置本体の使用材料

熱可塑性樹脂材料単独使用が 25 医療機関。また、熱可塑性樹脂材料に維持装置を加えている医療機関もある。

アクリリックレジン単独使用は 10 医療機関。

熱可塑性樹脂材料とアクリリックレジンを症例別に選択している「併用」は 6 医療機関。

不明 1 医療機関。

### (4) 院内技工における装置本体の材料料

熱可塑性樹脂製装置の 1 口腔当たりの材料料（購入価格）は  $1166.2 \pm 798.3$  円でばらつきが目立っている。熱可塑性樹脂には各材料により特徴を有しており、材質による差が直接価格に響いていると考えられる。

アクリリックレジン製装置の材料料は、即時重合型レジン、加熱重合型レジンおよび光重合型レジンを採用している医療機関に分かれており使用材料により材料料は大きく左右される。

各種の付属部品（クラスプなどの維持装置やハーベスト装置を用いている医療機関もある）を有する装置は、材料費そのものが高価であるか、また、材料料は安くても技工に長時間を費やすものがある。

### (5) 院外技工料金

院外技工料金は熱可塑性樹脂製、アクリリックレジン製のいずれも技工所により価格は大きく分かれ、材質による差は大きくはなかった。1 口腔装置当たり 7400 円～19500 円とばらつきが見られた。これは、歯冠修復及び欠損補に係る製作技工に要する費用及び製作管理に要する費用の割合が概ね 7:3 となっていることや、使用材料の種類が多岐にわたっていることなどが影響していると考えられる。

## V. 考察・提言

- (1) 口腔内装置治療を行っている歯科医療機関には地域差があり、都市部に集中している。
- (2) 診療に要した総時間（技工時間を除く）は  $45.69 \pm 28.85$ （分）と標準偏差が約 30 分あり症例の難易度に大きく依存している治療である事が判明した。
- (3) 技工は本治療を含め歯科医療には欠かせない作業である。適正な評価を行うためには正確なタイムスタディを行う必要がある。今回は、院内で行う部分の技工と院外技工を明確に分けておらず、詳細な調査が必要であると考えられる。
- (4) 装置の形態では、FKO 型単独は限られており、上下顎装置を口腔内で固定する方法が多数を占め、FKO 型との併用が続いていた。下顎を前方に出すことの出来る量は個人差が大きく一律に決定することは出来ない。経験を積み重ねて行く必要のある治療法である。
- (5) 口腔内装置の材料は、熱可塑性樹脂製 25 医療機関、アクリリックレジン製 10、症例により併用が 6 医療機関であった。熱可塑性樹脂は、適しやすい材料であるが耐久性が劣る。アクリリックレジンには耐久性に優れ

ているが歯への適合が比較的難しく口腔内装着の調整が複雑で、歯周の状況に応じて適応を考慮する必要がある。技工操作も経験が必要である。症例による使用材料の選択が望ましい。

- (6) 口腔内装置は、永久的なものではなく長期間においては再製作が必要となる。再製作に至る期間は口腔内状況の変化や材質に依存する。
- (7) 口腔内装置治療の精度を高めるためには客観的評価基準を定め一定の基準に従った治療の確立に努める必要がある。今回は調査しなかったが、治療効果判定は自覚症状の改善のみならず、客観的評価が必要である。今回の調査で重症が40例、25%存在しており、重症患者の場合リスクファクター改善の為に1泊2日の終夜ポリグラフ（PSG）検査は欠かすことが出来ないと考える。軽症・中等度症では少なくとも携帯用装置を使用しての評価が必要である。
- (8) 現在、睡眠呼吸検査は診断を含めて医科医療機関のみにおいて可能であるが、精度の高い治療を確立するためには医科・歯科共通の認識の上に立った密接な連携が必要であり、高い診断能力を有する医療機関の全国的な充実が望まれる。

## . 參考資料

表1-1 口腔内装置治療タイムスタディ調査票(初診時調査項目の結果)

	件数			平均値			中央値			標準偏差		
	件数	平均値	標準偏差	件数	平均値	標準偏差	件数	中央値	標準偏差	件数	中央値	標準偏差
歯科医師経験年数(年)	112	16.03	11.08	16								
睡眠医療経験年数(年)	112	6.95	6.13	5								
AHI(/時)	107	23.45	18.86	19								
mean SpO2 (%)	85	90.77	7.24	94								
最低 SpO2 (%)	8	82.25	5.87	83								
症例 難易度	所要時間			介助者数								
	件数	平均時間	標準偏差	件数	中央値	標準偏差	件数	中央値	標準偏差			
初診(窓口事務・問診・情報提供書の内容確認、所見記載・器具の準備、スタディモデル印象、インフォームドコンセント等を含む)	a	93	25.19	20	15.67	63	0.84	1	0.51			
	b	17	48.12	35	25.68	17	1.53	2	0.51			
レントゲン写真撮影	a	79	15.37	10	9.97	50	1.04	1	0.49			
	b	3	15.00	10	8.66	3	1.67	2	0.58			
作業用印象採得(初診当日より作製に入る場合)	a	70	15.54	15	6.64	44	0.93	1	0.33			
	b	12	24.08	24	7.39	11	1.55	2	0.69			
咬合器に装着する為の咬合	a	38	9.34	9	5.11	25	0.92	1	0.28			
	b	6	15.17	15	2.14	6	1.83	2	0.41			
療養指導	a	73	10.26	10	6.23	37	0.81	1	0.40			
	b	2	10.00	10	0.00	1	1.00	1				
診療録記載	a	97	7.02	5	3.84	46	0.41	0	0.54			
	b	1	10.00	10		1	1.00	1				
診療にかかった総時間		112	68.78	69	28.31	2	1.00	1	0.00			
院内技工時間	a	58	80.76	60	56.61	5	0.80	1	0.45			
	b	8	139.75	90	93.43	1	1.00	1				
診療、院内技工に要した総時間		112	120.58	98	79.27							

表1 - 2 口腔内装置治療タイムスタディ調査票(疑いで来院した初診結果)

	件数			平均値			中央値			標準偏差		
	件数	平均値	標準偏差	件数	平均値	標準偏差	件数	中央値	標準偏差	件数	中央値	標準偏差
歯科医師経験年数(年)	3	6.67	4	4	6.43							
睡眠医療経験年数(年)	3	3.67	3	3	3.06							
AHI(/時)	0											
mean SpO2 (%)	0											
最低 SpO2 (%)	0											

	症例 難易度	所要時間			介助者数				
		件数	平均時間	標準偏差	件数	中央値	標準偏差		
初診(窓口事務・問診・情報提供書の内容確認、所見記載・器具の準備、スタディモデル印象、インフォームドコンセント等を含む)	a	3	15.00	13	4.36	2	0.50	1	0.71
	b								
レントゲン写真撮影	a	2	15.00	15	7.07	2	1.00	1	0.00
	b								
作業用印象採得(初診当日より作製に入る場合)	a								
	b								
咬合器に装着する為の咬合	a								
	b								
療養指導	a	2	9.00	9	5.66	1	1.00	1	
	b								
診療録記載	a	3	11.67	10	7.64	0			
	b								
診療にかかった総時間		3	42.67	40	6.43	0			

院内技工時間	a								
	b								

診療、院内技工に要した総時間		3	42.67	40	6.43				
----------------	--	---	-------	----	------	--	--	--	--

表1-3 口腔内装置治療タイムスタディ調査票(再診1 作業用印象からの場合)

	件数	平均値	中央値	標準偏差
歯科医師経験年数(年)	43	14.07	15	9.53
睡眠医療経験年数(年)	43	6.49	5	5.65
AHI(/時)	41	22.71	19	13.81
mean SpO2 (%)	32	88.93	95	16.66
最低 SpO2 (%)	5	74.80	81	18.35

	症例 難易度	所要時間			介助者数				
		件数	平均時間	中央値	標準偏差	件数	介助者数	中央値	標準偏差
再診(器具の準備・初診の資料により診断・インフォームドコンセントを含む) 作業用印象採得	a	38	10.45	10	4.95	27	0.74	1	0.45
	b	3	26.67	30	15.28	2	2.00	2	0.00
咬合器に装着する為の咬合	a	29	16.14	15	3.52	19	0.89	1	0.32
	b	3	16.33	20	6.35	3	1.67	2	0.58
咬合器に装着する為の咬合	a	27	7.30	5	4.17	12	0.75	1	0.45
	b	2	16.50	17	19.09	2	1.50	2	0.71
療養指導	a	30	7.57	5	5.78	15	0.73	1	0.46
	b	3	18.33	20	2.89	2	1.00	1	0.00
診療録記載	a	40	5.68	5	3.11	17	0.41	0	0.51
	b	2	20.00	20	14.14	2	1.50	2	0.71
診療にかかった総時間		43	41.23	37	21.79	0			
院内技工時間	a	29	43.59	20	48.54	4	1.00	1	0.00
	b	2	60.00	60	0.00	1	1.00	1	
診療、院内技工に要した総時間		43	73.42	60	53.81				

表1-4 口腔内装置治療タイムスタディ調査票(再診2 装置装着から)

	件数	平均値	中央値	標準偏差
歯科医師経験年数(年)	121	15.37	16	10.41
睡眠医療経験年数(年)	121	6.79	5	6.33

症例	所要時間			介助者数				
	件数	平均時間	中央値	標準偏差	件数	介助者数	中央値	標準偏差
再診(器具の準備・診断・インフォームドコンセントを含む)	105	8.28	5	5.92	57	0.74	1	0.55
装置装着(装置を口腔内に装着するのに要した時間)	8	16.13	19	10.44	7	1.43	1	0.53
下顎位決定	98	11.28	9	8.40	51	0.86	1	0.57
上下顎装置固定(決定した下顎位で固定する時間)	17	20.88	19	12.73	15	1.13	1	0.52
レントゲン写真撮影(確認の為)	69	9.57	9	5.62	29	0.76	1	0.51
調整(再度の下顎位決定を含む)	12	11.83	15	4.51	12	1.17	1	0.39
療養指導	63	10.73	10	4.93	30	0.83	1	0.46
診療録記載	12	20.67	20	8.19	12	1.08	1	0.51
診療にかかった総時間	16	19.19	15	12.75	9	0.56	1	0.53
院内技工時間	38	9.45	9	5.99	20	0.70	1	0.47
診療、院内技工に要した総時間	8	12.50	10	5.35	4	1.00	1	0.00
	99	9.27	10	4.90	45	0.73	1	0.62
	9	15.11	10	9.65	7	0.86	1	0.38
	111	5.48	5	2.43	44	0.36	0	0.49
	4	10.00	10	4.08	3	1.00	1	0.00
	121	54.98	50	28.58	1	1.00	1	
院内技工時間	60	52.98	15	74.92	9	0.22	0	0.44
診療、院内技工に要した総時間	5	68.00	40	48.17	4	1.25	1	0.50
診療、院内技工に要した総時間	121	84.06	68	69.80				

表1-5 口腔内装置治療タイムスタディ調査票(再診3メンテナンス)

	件数	平均値	中央値	標準偏差
歯科医師経験年数(年)	266	15.45	16	9.92
睡眠医療経験年数(年)	266	6.38	5	5.71

	症例 難易度	所要時間			介助者数				
		件数	平均時間	中央値	標準偏差	件数	介助者数	中央値	標準偏差
再診	a	245	9.02	5	10.60	124	0.69	1	0.56
	b	7	24.57	22	20.65	6	1.00	1	0.63
調整		132	12.60	10	8.27	69	0.81	1	0.62
下顎位の変更(上下固定の除去から再度固定まで)	a	38	19.34	20	10.71	19	0.68	1	0.67
	b	9	23.33	23	15.35	7	1.29	1	0.76
療養指導	a	206	7.77	6	4.38	77	0.60	1	0.52
	b	23	28.35	32	13.92	20	1.75	2	0.55
診療録記載	a	250	5.16	5	2.57	94	0.50	0	0.54
	b	2	5.00	5	0.00	1	0.00	0	
診療にかかった総時間		264	32.36	30	21.68	7	0.43	0	0.53
院内技工時間	a	54	20.48	10	23.07	8	0.25	0	0.46
	b	3	73.33	90	28.87	1	0.00	0	
診療、院内技工に要した総時間		264	37.38	30	27.23				

表1-6 口腔内装置治療タイムスタディ調査票(集計一覧)

所要時間	初診				再診1				再診2				再診3			
	件数	平均値	中央値	標準偏差	件数	平均値	中央値	標準偏差	件数	平均値	中央値	標準偏差	件数	平均値	中央値	標準偏差
初診・窓口事務・問診・情報提供書の内容確認、所見記載、器具の準備、スタディモデル印象、インフォームドコンセント等を含む)	110	28.74	24	19.32												
再診(器具の準備・初診の資料により診断・インフォームドコンセントを含む)					41	11.63	10	7.25	113	8.83	5	6.59	252	9.46	5	11.23
レントゲン写真撮影	82	15.35	10	9.88												
作業用印象採得	82	16.79	15	7.36	32	16.16	16	3.72								
咬合器に装着する為の咬合	44	10.14	10	5.21	29	7.93	5	5.90								
装置装着(装置を口腔内に装着するのに要した時間)									115	12.70	10	9.72				
下顎位決定									81	9.90	10	5.51				
上下顎装置固定(決定した下顎位で固定する時間)									75	12.32	10	6.62				
レントゲン写真撮影(確認の為)									16	19.19	15	12.75				
調整(再度の下顎位決定を含む)									46	9.98	10	5.95				
下顎位の変更(上下固定の除去から再度固定まで)													132	12.60	10	8.27
指導	75	10.25	10	6.14	33	8.55	5	6.38	108	9.76	10	5.62	229	9.83	8	8.62
診療録記載	98	7.05	5	3.84	42	6.36	5	4.86	115	5.63	5	2.61	252	5.15	5	2.56
診療にかかった総時間	112	68.78	69	28.31	43	41.23	37	21.79	121	54.98	50	28.58	264	32.36	30	21.68
院内技工時間	66	87.91	60	64.24	31	44.65	25	47.07	65	54.14	20	73.05	57	23.26	15	25.98
診療・院内技工時間	112	120.58	98	79.27	43	73.42	60	53.81	121	84.06	68	69.80	264	37.38	30	27.23

[介助者数]	初診				再診1				再診2				再診3			
	件数	平均値	中央値	標準偏差	件数	平均値	中央値	標準偏差	件数	平均値	中央値	標準偏差	件数	平均値	中央値	標準偏差
初診・窓口事務・問診・情報提供書の内容確認、所見記載、器具の準備、スタディモデル印象、インフォームドコンセント等を含む)	80	0.99	1	0.58												
再診(器具の準備・初診の資料により診断・インフォームドコンセントを含む)					29	0.83	1	0.54	64	0.81	1	0.59	130	0.71	1	0.56
レントゲン写真撮影	53	1.08	1	0.51												
作業用印象採得	55	1.05	1	0.49	23	1.00	1	0.43								
咬合器に装着する為の咬合	32	1.09	1	0.47	15	0.87	1	0.52								
装置装着(装置を口腔内に装着するのに要した時間)									66	0.92	1	0.56				
下顎位決定									42	0.88	1	0.50				
上下顎装置固定(決定した下顎位で固定する時間)									42	0.90	1	0.48				
レントゲン写真撮影(確認の為)									9	0.56	1	0.53				
調整(再度の下顎位決定を含む)									25	0.76	1	0.44				
下顎位の変更(上下固定の除去から再度固定まで)													69	0.81	1	0.62
指導	38	0.82	1	0.39	17	0.76	1	0.44	52	0.75	1	0.59	98	0.85	1	0.71
診療録記載	48	0.44	0	0.54	19	0.53	0	0.61	47	0.40	0	0.50	96	0.49	0	0.54
診療にかかった総時間	2	1.00	1	0.00	0				1	1.00	1		7	0.43	0	0.53
院内技工時間	6	0.83	1	0.41	5	1.00	1	0.00	14	0.50	0	0.65	10	0.20	0	0.42
診療・院内技工時間																

表1-7 口腔内装置治療タイムスタディ調査票(全項目の結果)

	件数	平均値	中央値	標準偏差
歯科医師経験年数	542	15.44	16	10.23
睡眠医療経験年数	542	6.59	5	5.93
AHI	148	23.25	19	17.56
mean SpO2	117	90.27	94	10.62
最低 SpO2	13	79.38	81	12.11

	所要時間			介助者数				
	件数	平均値	中央値	標準偏差	件数	平均値	中央値	標準偏差
初診	110	28.74	24	19.32	80	0.99	1	0.58
再診	406	9.50	5	9.79	223	0.75	1	0.57
レントゲン写真撮影	98	15.98	11	10.42	62	1.00	1	0.54
作業用印象採得	114	16.61	15	6.53	78	1.04	1	0.47
咬合器に装着する為の咬合装置装着(装置を口腔内に装着するのに要した時間)	73	9.26	10	5.56	47	1.02	1	0.49
115	12.70	10	9.72	66	0.92	1	0.56	
下顎位決定	81	9.90	10	5.51	42	0.88	1	0.50
上下顎装置固定(決定した下顎位で固定する時間)	75	12.32	10	6.62	42	0.90	1	0.48
調整(再度の下顎位決定を含む)	178	11.92	10	7.81	94	0.80	1	0.58
下顎位の変更(上下固定の除去から再度固定まで)	47	20.11	20	11.65	26	0.85	1	0.73
療養指導	445	9.79	10	7.43	205	0.81	1	0.61
診療録記載	507	5.73	5	3.17	209	0.46	0	0.54
診療にかかった総時間	540	45.69	40	28.85	10	0.60	1	0.52
院内技工時間	219	54.94	30	62.30	35	0.54	1	0.56
診療・院内技工時間	540	67.96	45	63.72				

# 口腔内装置治療タイムスタディ調査票

(初診)

所属医療機関名						
歯科医師氏名						
歯科医師としての経験年数	年					
睡眠医療の経験年数	年					
調査月日	月 日					
プロトコールNo	□□ - □□ □□ - □□ □□					
カルテNo						
患者年齢	歳					
性別	男 女					
情報提供を受けた医療機関						
AHI	/時					
mean SpO2	%					
	症例難 易度	ランニングタイム		所要時 間(分)	介助 者数	備考・難易度「b」理由
		開始	終了			
初診(窓口事務・問診・情報提供書の内容確認、所見記載・器具の準備、スタディモデル印象、インフォームドコンセント等を含む)	a・b	:	:			
レントゲン写真撮影	a・b	:	:			
作業用印象採得(初診当日より作製に入る場合)	a・b	:	:			
咬合器に装着する為の咬合	a・b	:	:			
療養指導	a・b	:	:			
診療録記載	a・b	:	:			
診療にかかった総時間						
院内技工時間	a・b	:	:			

診療、院内技工に要した総時間

分

# 口腔内装置治療タイムスタディ調査票 (再診1 作業用印象からの場合)

所属医療機関名						
歯科医師氏名						
歯科医師としての経験年数	年					
睡眠医療の経験年数	年					
調査月日	月 日					
プロトコールNo	□□ - □□□□ - □□□□					
カルテNo						
患者年齢	歳					
性別	男 女					
AHI	/時					
mean SpO2	%					
	症例難 易度	ランニングタイム		所要時 間(分)	介助 者数	備考・難易度「b」理由
		開始	終了			
再診(器具の準備・初診の資料により診断・インフォームドコンセントを含む)	a・b	:	:			
作業用印象採得	a・b	:	:			
咬合器に装着する為の咬合	a・b	:	:			
療養指導	a・b	:	:			
診療録記載	a・b	:	:			
診療にかかった総時間						
院内技工時間	a・b	:	:			

診療、院内技工に要した総時間

分

# 口腔内装置治療タイムスタディ調査票

(再診2 装置装着から)

所属医療機関名						
歯科医師氏名						
歯科医師としての経験年数	年					
睡眠医療の経験年数	年					
調査月日	月 日					
プロトコールNo	□ — □ □ — □ □					
カルテNo						
患者年齢	歳					
性別	男 女					
	症例難 易度	ランニングタイム		所要時 間(分)	介助 者数	備考・難易度「b」理由
		開始	終了			
再診(器具の準備・診断・インフォームドコンセントを含む)	a・b	:	:			
装置装着(装置を口腔内に装着するのに要した時間)	a・b	:	:			
下顎位決定	a・b	:	:			
上下顎装置固定(決定した下顎位で固定する時間)	a・b	:	:			
レントゲン写真撮影(確認の為)		:	:			
調整(再度の下顎位決定を含む)	a・b	:	:			
療養指導	a・b	:	:			
診療録記載	a・b	:	:			
診療にかかった総時間						

院内技工時間	a・b	:	:			
--------	-----	---	---	--	--	--

診療、院内技工に要した総時間

分(重合に要した時間は除く)

# 口腔内装置治療タイムスタディ調査票

(再診3 メンテナンス)

所属医療機関名						
歯科医師氏名						
歯科医師としての経験年数	年					
睡眠医療の経験年数	年					
調査月日	月 日					
プロトコールNo	□ □ — □ □ □ □ — □ □ □ □					
カルテNo						
患者年齢	歳					
性別	男 女					
	症例難 易度	ランニングタイム		所要時 間(分)	介助 者数	備考・難易度「b」理由
		開始	終了			
再診	a・b	:	:			
調整		:	:			
下顎位の変更(上下固定の除去から再度固定まで)	a・b	:	:			
療養指導	a・b	:	:			
診療録記載	a・b	:	:			
診療にかかった総時間						
院内技工時間	a:b	:	:			

診療、院内技工に要した総時間

分

## 使用材料および技工料金調査票

&lt; 診療時使用材料 &gt;

## ◎ 印象採得

使用材料名	g又は個数あたりの 単 価 (円)	1 口腔あたりの 使用量 (g又は個数)	総症例数	総 額 (単価×1口腔使用量 ×総症例数)(円)

## 咬合採得

使用材料名	g又は個数あたりの 単 価 (円)	1 口腔あたりの 使用量 (g又は個数)	総症例数	総 額 (単価×1口腔使用量 ×総症例数)(円)

## ◎ 院内技工

(FKOの様に口腔外で下顎位を決定する方式)

使用材料名	g又は個数あたりの 単 価 (円)	1 装置あたりの 使用量 (g又は個数)	総装置数	総 額 (単価×1装置使用量 ×総装置数)(円)
義歯床用アクリリック樹脂 ( )				
義歯床用アクリリック即時硬化樹脂 ( )				
ステンレス鋼線				

(上下装置を作製し口腔内で下顎位を決定する方式)

使用材料名	g又は個数あたりの 単 価 (円)	1装置あたりの 使用量 (g又は個数)	総装置数	総 額 (単価×1装置使用量 ×総装置数)(円)
義歯床用アクリリック樹脂 ( )				
義歯床用アクリリック即時硬化樹脂 ( )				
熱可塑性樹脂プレート ( )				

外注技工

装 置 名	外注技工料金 1装置あたり(円)	使用材料および備考 (具体的商品名)
FKOの様に口腔外で下顎位を決定する方式		
上下装置を作製し口腔内で下顎位を決定する方式		
その他 ( )		